

## 研究対象者等に通知し、又は公開すべき事項（情報公開用）

申請番号：19-224

試料・情報の利用目的及び利用方法

- ・ 研究課題名： 乳癌患者における各抗腫瘍薬の治療効果・安全性の検討
- ・ 目的：本研究の目的は、当院の乳がん患者における薬物療法選択・順序の実態および臨床病理学的因子が治療成績に与える影響を明らかにし、今後の治療選択の一助になることを目的とします。
- ・ 研究期間：本研究の承認日～2027年3月31日
- ・ 研究対象：2007年4月1日～2026年12月31日

利用し、又は提供する試料・情報の項目

：この研究では、患者年齢、閉経状況、PS (performance status)、既往症、TNM分類、術式、病理組織型・ER, PgR, HER2 status、血液検査（好中球・リンパ球数/比）、各抗腫瘍薬投与の有無・順序・投与量・投与期間、治療効果、副作用、投与中止理由、併用薬、遠隔転移数・部位、腫瘍学的転帰を、匿名化した状態で調査を行い解析します。

利用する者の範囲

：当院で研究責任者は、乳腺腫瘍科の松浦一生です。

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称

： 当院で研究責任者は、乳腺腫瘍科の大崎昭彦です。